
愛＝心＝幸せ？

美花

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

愛Ⅱ心Ⅱ幸せ？

【Nコード】

N5316B

【作者名】

美花

【あらすじ】

支離滅裂でわけが分らないと思います（・へ・；）面倒くさい
と思った方はスルーしちゃって下さいm（　　）m

私は、私がただの『器』にすぎないという状態になったことがある。

ただそこに『存在』しているだけ、ただ『ある』だけの状態になったことがある。

世界は透き通るほど静寂で、色などなかった。本当に、世界が無音で白黒なのだ。

「食べたい」

という欲求もない。

「眠たい」

という欲求もない。

「死にたい」

という欲求さえも湧かない。

それこそが、間違いなく私が『無』であつたと言い切れる証拠だ。

私はそこから、少しずつ少しずつ『何か』を私の中に入れていった。

それは、

「欲望」

かもしれないし

「愛」

なのかもしれない。

自分の空っぽな器を満たすということは

「幸せ」

なのかもしれないし

「不幸」

なのかもしれない。

ただ間違いなく言えることは、無のままである器は、限りなく『
絶望』だ。

それは白でも黒でもない世界。 目なんて、見えていないといっ
た方が正しい。

暗闇であるからこそ光を求め、光であるからこそ暗闇を求める。

そのどちらでもない私に求めるものなどなかった。

人間にとって、

「幸せ」

とは一体何なのだろう。

「幸せ」

だと思える時とは、つまり、心が温かくなったり満足感を得る時だろうか。

それでは、『心』とは一体何だ？

人は、楽しさ嬉しさ悲しみ怒りなどの感情を感じ取る時、自分の『心』で感じとる。

『心』とは、大体の人は胸の奥辺りで感じとるはずだ。

一体、何故なのだろう。

人体を解剖してみても、ココに実際内臓が入ってる訳ではないはず。肺などがあるだけだ。

ココには一体何が入ってる？ 目には見えない何かが入っているのだろうか？

と考える時、私の中での答えが自然に浮かびあがってくる。

ココに入っているものは、『愛』だ。

『愛』があるからこそ、人は『心』を感じとれる。

一言で『愛』と言っても、もちろん恋愛だけではない。

親子愛、兄弟愛、夫婦愛、友情愛。

他にもたくさんある。

この世界で一番強いのは、『愛』だと思う。

例えば、自分が殺されると言う不運な境遇に陥ったとしても、『心』は誰にも殺せない。

誰にも折ることなんて出来ない。

それこそが、人が

「幸せ」になれる唯一の方法なのかもしれない。

「心」

を感じとれることが、

「幸せ」

そのものなんだ。

それが、私にとっての世界のあり方であり、基本だ。

(後書き)

頭が痛い(笑)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5316b/>

愛=心=幸せ？

2010年12月29日10時30分発行